

(2) 特色ある教育活動

- ア 総合的な学習の時間を核に、経験・体験を重視し「知る」「広める」「深める」をキーワードにした学習活動を、3年間を見通した系統的かつ教科横断的に推進する。具体的には、これまで活動の柱としてきたSDGs学習を包摂した地域貢献及び感謝の心が体現できる活動として職場体験、上級学校訪問、小中連携による活動、コミュニティスクールや地域市民による四中校区円卓会議等の地域と連携した活動を通して、主体性・コミュニケーション力・課題設定・解決力等非認知能力と認知能力のバランスよい育成を図る。
- イ 生徒会・委員会活動の活発化による各種奉仕活動、「子供食堂の運営」「子供と遊ぶ見守りボランティア」「SDGs・防災マップづくり」「幼児・高齢者への読み聞かせ活動」「校内菜園」「小中連携による活動」等有志による活動を通して地域貢献の大切さの理解、感謝の心の体現を図る。
- ウ 朝学習において、読売新聞の編集手帳ノートの活用（書き写し、要約、タイトルづくり）を通して、書く力を定着させるとともに文章読解力、情報収集力、情報編集力を育成し、時事問題に対する関心を高める。
- エ 小中連携の取組において、運動会・修学旅行説明会・夏季休業中を利用した児童への学習支援・合唱コンクール・読書活動・防災活動・各種奉仕活動等を通じた四中学区教職員及び児童・生徒の交流等を活発化させ、人間関係形成力や実践力を育成するとともに「生涯に渡って学び続ける力」「清瀬を誇りとし持続発展の主体者となる力」を養う。